



会報

一般社団法人 人間力認定協会

理解は支援の第一歩！

支援の輪を拡げよう！

メンタルケア資格の認定開始

発達障がい児の二次障害を防ぐ

いつも当協会の理念に賛同し、ご支援いただいている皆様に感謝申し上げます。二〇二〇年から資格認定を開始し、順調に支援の輪が広がってまいりました。現在までに延べ四万名を超える方が受講して下さっています。療育施設や高等学校、専門学校などで団体受験の実績も増え、この分野への注目の高さを改めて感じています。

受講者の皆様から沢山の体験談を頂いておりますが、その中で「二次障害」というキーワードをよく目にするようになりました。発達障がい児支援をするうえで、二次障害は非常に重要なテーマです。定期的に開催している意見交換会でも、発達障害の特性

を持つお子様が精神疾患を患い、引きこもりになってしまっているお話や、自傷行為に至ってしまったお話もあり、私どもに何か出来ることはないかと考えてまいりました。

そこで誕生したのが二〇二五年三月一日より認定を開始した「メンタルヘルス支援士」資格です。この資格の詳細は次ページで紹介しますが、皆様の悩みを伺い、その悩みを少しでも軽くするためのエッセンスを詰め込みました。メンタルヘルス支援士認定開始記念で、現在一百万円の割引販売をしていますので、是非ウェブサイトを御覧ください。共に支援の輪を拡大していきましよう。合言葉は、理解は支援の第一歩！

理事長コラム

アメリカ合衆国ではメンタルヘルスへの意識が年々高まり、学校や企業での支援制度の充実が進んでいます。例えば、「メンタルヘルス・ファーストエイド (Mental Health First Aid)」のようなプログラムが普及し、教育機関や職場での精神的ケアが重視されるようになりました。この流れは日本においても大変参考になるものであり、私たちの支援活動においても重要な視点となります。

そこで当協会は、本年三月より「メンタルヘルス支援士」資格の認定を開始いたしました。本資格では、発達障がいと精神疾患の関連性を学び、適切な支援方法を習得できます。支援者の皆様の一助となることを願い、受講しやすい環境も整えておりますのでお気軽にお問い合わせください。

今後とも受講者の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

一般社団法人 人間力認定協会
代表理事 井上智之



メンタルヘルス支援士の認定スタート



メンタルヘルス支援士 特設サイト

<https://ninkyou.jp/mental-license/>

(2025年3月31日までのお申込みで1万円割引)

新認定資格の詳細情報

メンタルヘルス支援士の詳細について紹介させていただきます。上記特設サイトにアクセス頂くと「デジタルパンフレット」の請求ができるようになっておりますので、より詳しく知りたい方は上記サイトにアクセスをお願いします。

メンタルヘルス支援士は精神疾患患者や発達障がい者、メンタルヘルスに不調をきたしている方に、どのような働きかけをすればメンタルヘルスを良い状態に変えたり、悪化を防ぐことができるのかを体系的に学びます。精神疾患の特徴や治療に用いられる心理療法や傾聴・受容・共感を基礎としたカウンセリング、日常的に活用できる心理学テクニックを体得し、被支援者に適切な支援をすることが目的となっています。

教材のボリュームは児童発達支援士とほとんど同等となっておりますし、試験の実施方法や問題数なども同じですので、児童発達支援士を受講された方にとって、非常に学びやすい環境となっております。

メンタルケアや心理カウンセリング関係の民間資格は他にもあります。当協会のメンタルヘルス支援士資格が他社資格と違う点は発達障害と精神疾患との関連性を学べる点です。またカサンドラ症候群や、大人の発達障害について学べる点も当協会ならではといえると思います。

現時点でメンタルヘルスが悪化している方が身近にいる方は勿論ですが、精神疾患や二次障害を未然に防ぎたいと考えている方にお勧めできる内容となっておりますので、是非受講をご検討ください。

クラーク記念国際高等学校にて 今学期よりコミュサポも追加導入



クラーク記念国際高等学校 東京キャンパスの外観

クラーク東京キャンパス

昨年、児童発達支援士を導入頂いたクラーク記念国際高等学校 東京キャンパス校にて、今年から「発達障害コミュニケーションサポーター」資格も追加で導入して頂くことが決定いたしました。

児童発達支援士を受験して合格された生徒様を対象に、発達障害コミュニケーションサポーターの授業を行っていただく形となります。

今後、高等学校、大学、専門学校への教材提供は積極的に、発達障害に関する認知を広げていきます。理解は支援の第一歩。若い世代が正しい認知を持つことで、発達障害の特性を持つ子やそのご家族の未来は大きく変わるでしょう。

～アンケートのご協力依頼～

療育エピソードを募集しています

皆様がこれまでに経験してきたことは、これから経験する方にとって財産となります。当協会では療育エピソードとして体験談を募集し、受講者の皆様に共有しています。体験談が多ければ多いほど救われる方は増えます。ご協力願下さい！

●特に募集中のエピソード●

- ・ADHD 児の投薬に関するエピソード
- ・子どもの二次障害に関するエピソード
- ・子どもに発達障害であることをどう伝えたか
- ・高校、大学の受験時に関する困ったこと
- ・アンガーマネジメントに関するエピソード



療育エピソードサイト

<https://ninkyu.jp/member>

(協会 LINE から簡単にアクセス可)

拡がる認定支援士の輪

新たにご登録いただいた認定支援士のご紹介

(2024.9.1 ~ 2025.2.28 ご登録者)

個人情報保護のため、ぼかしを入れています

認定支援士より頂いたメッセージをご紹介します

(全員のメッセージを紹介しきれないため、今回は一部の支援士のみご紹介します)

東ア
エリア

団体名なし

匿名希望さん

― 支援で大切なことは？

まずは発達障害というものはどのようなものなのかを理解することが重要だと思います。それを知らずに支援はできない。

そして、その子の立場に立って見て、どのようなことに困っているのかを把握すること。把握できたなら、それを解決するにはどのような支援が必要なのか検討し、その子にあった支援を行うことが大切だと思う。

また、子どもだけでなく、保護者特に母親にどのような支援をしていくか、何故その支援が必要なのかを理解させ、共に支援していくモチベーション作りも大切である。そして最も大切なことは、子どもとの信頼関係の構築である。

東ア
エリア

団体名なし

三浦梓さん

― 資格取得のきっかけは？

子どもが発達障がいと診断されてきたので経験を活かしてママたちの話を聞いたり、また子どもたちの就業先支援を見ていて何か手伝えることはないか、起業している今だからできることはないかと思いついて取得しました。

― 知識を習得して変化は？

親の知識の持ち方ひとつで子どもの状態は改善していく。障害だからうんぬんかんぬんではなく、将来を見据えての声かえなどをしていきたい。

― 支援で大切なことは？

環境を整えすぎることよりも、今の状態でのベストを見つけてあげること。将来をみて行動していくこと。

東ア
関エリ

団体名なし
濱田佐和子さん

―支援をして辛かった事は？
一人として同じ特性を持つ
ている子どもはいないとい
うことで、対応の仕方に正解が
ないということです。

声かけ、対応のバリエー
ションは経験によって引き出
しがふえていきませんが、支援
にはコレという正解がないの
が辛さであり、また子どもと
共に成長していく楽しみでも
あります。

―知識を習得して変化は？
自主性、主体性は大きな
テーマだと思いました。なん
のために支援するのかという
大きなテーマが発達障害につ
いて学ぶことで、より明確に
なったと実感しています。

畿ア
近エリ

団体名なし
匿名希望さん

―知識を習得して変化は？
様々な子ども達への声かけ
など、落ち着いてできるよう
になりました。また資格を得
たことで自分に自信が持てる
ようになりましたし、もつと
たくさんの知識が欲しいと思
いました。これからも勉強を
続けたいです。

―支援で大切なことは？
なぜこの子がこういう行動
をするのか、行動分析をする
ことや、しっかりお話を聞い
て傾聴してあげることが大切
です。今までたくさん理解し
てもらえず困ってきたかもし
れないので、理解し共感して
あげられたらと思います。ま
た、接するときには笑顔を絶や
さず、一緒に楽しみながらト
レーニングをしていきたいで
す。

東ア
関エリ

株式会社 Yori-i
石井 堯之さん

―支援をして辛かった事は？
外見からは障害をもってい
るか、わかりづらく、外出し
た際の周囲の冷ややかな目が
辛いと感じることがあった。

―知識を習得して変化は？
子どもに対する向き合い方
だけでなく、仕事においても
人に対する向き合い方が変
わった。具体的には個性を認
め、多様な考え方ができるよ
うになった。

―悩んでいる方に助言は？
個人の意見ですが、障害と
は社会と本人の間の生きずら
さだと考えています。その社
会を変えるための動きを親で
ある私たちが実行しなければ
ば、状況は改善しません。な
のでともに頑張りましょう。

～会員様の活動サポート～

活動団体やWEBサイトの紹介

皆様の活動を応援するために、当協会のWEBサイトにて皆様の団体やブログ等をご紹介しております。もしご希望の方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください！支援の輪を共に広げてください！

(活動団体のご紹介事例)

児童発達支援士を導入している団体

 <p>発達障がい支援センター 全国(オンライン)心算算習センター</p>	 <p>児童発達支援 みくりげ 兵庫県神戸市 発達障がい支援センター</p>	 <p>ピースフル 岡山県岡山市西区 発達障がい支援センター</p>
 <p>FIPSTA (フィプスタ) 株式会社 大阪府大阪市 運営(オンライン)研修</p>	 <p>GROWING (グローウイング) 株式会社 兵庫県神戸市 発達障がい支援センター</p>	 <p>シマクリエイト 株式会社 東京都目黒区 発達障がい支援センター</p>